

わった。ハイライト
、2007年の郵政
営化時の社員の所属
を挙げる。

約40万人の社員を郵
銀行、保険のどの
基準作りを担つ
。不満の声が上がる
懸念したが、労働組

正販売発覚で、19年7
月から自粛していた営
業活動を4月に再開し
た。これまでの経緯か
ら見て支社、そして本
社は距離があると分析
する。信頼されていな
いとの思いもある。

そのため「本音で話
する」との想いもある。
そのため「本音で話
する」

性効果長持ち

テク シー 食品機械用シリコーンスプレー

べり性を高めるフッ素系ドライ潤滑剤「サーフスプレー」を発売した。一般的なシリコーンスプレーに比べてすばり性が長いと評価する。

負

「買い手が付
り受注生産は
ない。買い手
技術を磨く」
長)と、価格
なく技術の勝
込むために、
品の量産や試
している分野を
た。

社を具現化す
た。

工業の金型か
た注射器のシ
外筒)。バシ
クとの「戦い」
ちたい」と池
月売上高=30億

理念共有 同業者連携・協業

池上社長は、「見える化」の効果を「ものすごく大きい」と感じている」と話す。熟練者らの中には、言葉で表現するのが苦手な人もいる。見える化が、社員の意識の共有に役立っているようだ。同社は日系メーカーの海外進出を背景にグローバル展開も進めてきた。メキシコのほか

(随時掲載)

池上社長が小学生の中には、言葉で表現

するものが苦手な人もいる。見える化が、社員の意識の共有に役立っているようだ。

同社は日系メーカーの海外進出を背景にグローバル展開も進めてきた。メキシコのほか



地域代表

ラウンジ

村田さん

△：「会社を法人化した27年前、どこに工場を建てようかと探し当てたのが、ここ和光市だった」と振り返る。その計画が頓挫し、担当たのが、ここ和光市だけになってしまった」のが結果的に地域のは、光英科学研究所を代表する存在にした

（埼玉県和光市）会長

の村田公英さん。

（川越）

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

5月10日曜日

2021年(令和3年)

城北信用金庫(東京
都荒川区、大前孝太郎
リーチューアル

城北信金

深川支店を
城北信金



小合わせて約60本で、旬の味覚として楽しむため参加者同士で分け合つた。

「営業店窓口支援システム」のタブレット端末で客が伝票に手書きする負担を軽減した。マイクロオーブンする。

理事長は10日、深川支店(イメージ)をリニューアルオープンする。

「さいたまスマート」のタブレット端末で客が伝票に手書きする負担を軽減した。マイクロオーブンする。

操作できる現預払機(ATM)を導入した。いす昇降機などをバリアフロードした。

玉原熊谷市)企業の販路拡大などを支援する「さいしんビジネスフェア2021」を10日から6月30日までオンラインで開く。県内外から約300企業

△：一時、同じ市内にある創業支援施設の和光理研インキュベーションプラザ(IP)に入居。「和光理研IPにいた5年間で多くの人脈を築けた」ことも成長を支えた。

△：現本社は「和光

理研IPの卒業企業を市内の工業団地に立地させる計画の第1号。その計画が頓挫し、担当たのが、ここ和光市だけになってしまった」のが結果的に地域のは、光英科学研究所を代表する存在にした

（埼玉県和光市）会長

の村田公英さん。

お申し
書籍

ニュースアッチャラボ presents 【シリーズ】注目の「全固体電池」は何を変えるのか？

今田伸重

□ □ □ □

1

【日時】
— / —